

どちらにも仏教に帰依した者が頂く名前ですが、「戒名」は戒律をたもつことを志す仏道修行者に授ける名前であり、他宗の多くで使用されています。これに対して、浄土真宗では私の修行は条件とせず阿弥陀如来の法（教え）により生き抜く名前であるため「法名」と呼びます。

題材法話

「浄土真宗のみ教え ②〇」
光の浄土（2）

＊拝読「浄土真宗のみ教え」の28頁をお読み下さい。

前々号からのつづき

「お釈迦様は悟られましたか？」との問いに、
「第一の矢は受けるが、第二の矢は受けない」と答えられたそう

い生 の う 体的 し、 ら、 た 体 い 依
 った け 矢 こ 的 、 ち が っ お
 た る れ と 苦 痛 ま で 残 て う
 精 不 れ で 痛 そ 気 悟 さ 人 よ
 神 安 も す 受 の ら れ た 間 え
 的 や 、 け け た ま として 涅
 肉 け ら ため 肉 肉 槃 一
 肉 肉 肉 肉 肉 肉 肉 肉 有
 肉 肉 肉 肉 肉 肉 肉 肉 余



は、ものごとを「ありのままに見ることが出来るまいか」から生じること

さ。では私たちが、お釈迦さまと同じように、第二の矢を受けよう。

か。となるところがこれが難

親鸞聖人が「凡夫といふは、無明煩惱を我が身にみちて、欲も

お、お、く
だち、そい
こころ、ねみ、なむ
して、臨終の一念にい

「たゞ、きえず、たえず」(一念多念文意)と示

されるように
人間としての
るまで第二の
続ける凡夫な
ですが、そ
だからこそ、



をを受けることの無い悟
りを得させようとなさ
れてゐるのです。
ではそのお浄土とは
どんなところでしやう
か？

○お浄土はどんなところ

をを受けることの無い悟
りを得させようとなさ
れてゐるのです。
ではそのお浄土とは
どんなところでしやう
か？

○お浄土はどんなところ

うお経には悟りを得た
仏様は、「いろもな
し、かたちもましま
ず。しかればこころも
およばず、ことばもた
えたり」と述べられて

ます。
つまり、私達人間の
色や形や言葉といった
感覚では表すことがで
きないという事です。

は、また「和讃」の中に
浄土の姿は「究竟」

せること虚空に
 広大にして辺際
 とあります。
 の、これも同じく
 で「といこつた



ど豊富な知識で求めようとしても、推し量ることのできない世界なので、そんな私達に仏さんの方からイメーヂさせようとするのが『光』なのです。

ど豊富な知識で求めようとしても、推し量ることのできない世界なので、そんな私達に仏さんの方からイメーヂさせようとするのが『光』なのです。

○浄土のイメージ

「光」の対局は

「暗」は人間の迷いや罪業を意味します。

い前
苦途
しいに
人を展
間の望
迷の開
いのな

は、その「暗」を破るの
だけ「光」のみです。
どれだけ暗が長かろう

と、どれだけ暗が深か
ろうと、光は一瞬にし
て明に変えます。

私達は光に絶対的な力を
を感じ、阿弥陀さんやお
浄土を「光」に譬え

るのです。
親鸞聖人は、「仏は
すなわちこれ不可思議

光如来なり、土はまた